

知恵と行動で新潟から未来を拓く



「第7回 新潟SDGsアワード」 取り組みを募集しています！

あなたの「当たり前」が、新潟の未来を変えるかもしれません。

- 「地域のために、こんなことを始めた」
- 「子どもたちと、こんな活動をしている」
- 「会社として、こんな工夫をしている」
- 「学校で、こんな挑戦をしている」

そんな一つひとつの活動が、持続可能な新潟をつくる大切な一歩です。

「一般社団法人地域創生プラットフォームSDGsにいがた」では、今年も『新潟SDGsアワード』の応募を受け付けます。

学校（小・中・高）、大学、企業、団体、地域、そして個人——。新潟県内で「持続可能な社会や暮らし」を目指して取り組んでいる皆さまが対象です。

「新潟SDGsアワード」とは？



新潟県内で実践されているさまざまなSDGs活動の中から、特に優れた取り組みを審査・選考し、表彰する顕彰制度です。大切なのは、活動の「大きさ」だけではありません。

▶地域の課題に向き合っている。 ▶誰かの困りごとを解決している。 ▶子どもたちの未来のために動いている。 ▶環境や地域を守る工夫をしている。 ▶仲間を増やしながら活動をしている。 などなど、ありとあらゆるSDGsな活動が対象です。

あなたにとっては「いつもの活動」でも、誰かにとっては「新しい一歩」かもしれません。

こんな活動をぜひ教えてください

- 学校・大学でのSDGs活動
- 地域づくり・まちづくり
- 環境保全・資源循環
- 子ども・教育・福祉に関する活動
- 地域産業・農業・食に関する取り組み
- 働き方や企業活動を通じたSDGs
- 地域の人と人をつなぐ活動
- その他、「持続可能な社会や暮らし」につながる活動

「SDGsの専門家ではないから……」、「こんな小さな活動で応募していいの？」

そんな心配は必要ありません。あなたが「未来のために続けていること」を、ぜひ私たちに教えてください。

あなたの活動を、新潟の未来の「モデル」に

優れた活動は、識者らによる審査を経て表彰します。しかし、表彰はゴールではありません。

一つの活動が紹介され、それを見た誰かが「自分たちもやってみよう」と動き出す。その連鎖こそが、新潟のSDGsをさらに前へ進める力になります。

さあ、あなたの一歩を、次の誰かの一歩につなげてみませんか。

■主催（応募・問い合わせ）

一般社団法人 地域創生プラットフォームSDGsにいがた

〒950-8535 新潟市中央区万代3丁目1番1号（新潟日報社 総合プロデュース室）

TEL：025-385-7473（平日10：00～17：00） メール：sdgs@niigata-nippo.co.jp



応募用紙はSDGsにいがた公式サイトから
ダウンロードしてください
<https://sdgs-niigata.net/>



応募資格

- (1) 新潟県内でSDGsの理念に沿う活動を行っている企業・団体（学校や大学を含む）・個人。
- (2) 対象となる取り組みは、1企業・団体・個人につき1件までとします。
- (3) 対象となる企業・団体・個人が、暴力団員または、暴力団員と密接な関係を有するものであったり、反社会的な活動に参加していたりする場合は応募できません。
- (4) 自薦・他薦を問いません。
- (5) 過去の新潟SDGsアワードにて、大賞・優秀賞・奨励賞・食の新潟国際賞財団特別賞のいずれかを受賞したものと同一取り組みについては、応募できません。ただし、同じ取り組みでも、より深化した取り組みについては、応募可能です。

応募方法

一般社団法人SDGsにいがたのメールアドレス sdgs@niigata-nippo.co.jp 宛てに、応募用紙と必要資料を提出してください。応募用紙はPDF等に変換せず、エクセルのままメールに添付してください。応募用紙はSDGsにいがた公式サイトからダウンロードしてください。

公式サイト ▶ <https://sdgs-niigata.net/>

大賞・部門賞・特別賞

大賞は部門を問わず、極めて顕著な成果があったと認められる取り組みに贈られます。経済部門、社会部門、環境部門の3部門それぞれに優秀賞、奨励賞を選定します。特筆すべき功績と成果には「食の新潟国際賞財団特別賞」が贈られます。

締め切り

2026年12月11日（金）必着

表彰式

2027年2月18日（木）新潟日報メディアシップ2階 日報ホールで開催。

表彰記念品

表彰状と副賞を授与。副賞にはSDGsの観点から障がい者の絵画等を検討。

選考結果の発表

受賞者には個別に連絡するほか、「SDGsにいがた」WEBサイトに結果を掲載。

締め切り

2026年
12月11日(金)
必着

<過去の大賞>

第1回／2件

- ◆食品ロス削減、留学生を支援～アクシアルリテイリング（長岡市）グループ 「原信・ナルス」
- ◆地元の食材を使った商品を開発・販売～荒川中学校3年生×あらかわ地区まちづくり協議会（村上市）

第2回／2件

- ◆アフリカ向け開発のコメを栽培、ザンビア孤児を支援～佐渡総合高校（佐渡市）
- ◆「ESG経営宣言」を制定～一正蒲鉾（新潟市東区）

第3回／1件

- ◆粟島の大豆生産を応援～カルビー（東京）

第4回／1件

- ◆女性が働く環境の整備～皆川製作所（加茂市）

第5回／1件

- ◆マルチワークによる移住者の定着率アップ～NPO法人はねうまネットワーク・妙高はねうま複業協同組合（妙高市）

第6回／1件

- ◆フードリサイクル事業部の取り組み（食品廃棄物を畜産飼料として活用）～株式会社ナカショク（新発田市）

■主催（応募・問い合わせ）

一般社団法人 地域創生プラットフォームSDGsにいがた

〒950-8535 新潟市中央区万代3丁目1番1号（新潟日報社 総合プロデュース室）

TEL：025-385-7473（平日10：00～17：00） メール：sdgs@niigata-nippo.co.jp

